



佐野小だより

web版⑤

学校教育目標

「豊かな心を持ち、
たくましく生きる子」

重点目標 ★高め合う子★

支え合い…思いやる心を持ち、支え合う子
学び合い…自分の考えを持ち、学び合う子
鍛え合い…健康に関心を持ち、鍛え合う子

教室拝見

6年 体育

6年生の体育館体育では、「跳び箱運動」を行っています。
5・6年生の跳び箱運動では、その行い方を理解するとともに、自己の能力に適した『切り返し系』や『回転系』の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることがねらいです。

ここでいう『切り返し系の技』というのは、跳び箱上に支持し、回転方向を切り替えて飛び越す技のことで、「開脚跳び」「かかえ込み跳び」などがあります。また、『回転系の技』は、跳び箱上を回転しながら飛び越す技のことで、「台上前転」「首はね跳び」「頭はね跳び」などがあります。

準備体操をしたあと、跳び箱やマットの準備にかかります。6年生ともなると、準備の動きも素早いです。手が足りない、「マット手伝って。」など、声を上げ協力し合います。先生は、すかさず「そういう声大事！」と、子ども同士の関わりを認めて褒めていました。また、今回の跳び箱運動では、一人一人の運動量をできるだけ確保することを考えて、準備する跳び箱等の配置を工夫していました。

準備が終わると、今日の自分のめあてを学習カードに書き始めました。自分の能力に合わせて、今日の授業で特に取り組みたい技を書き込んでいきます。先生は、子どもたちがどんな技に挑戦するか確認をして、実際の運動に入っていきます。今日の時間では、かかえ込み跳びや台上前転、頭はね跳びに挑戦したいという子がいました。

まずは、これまでに学習した『開脚跳び』で体慣らしをして、自分が立てた目標の技の練習に入っていました。





子どもたちは、目標が明確なので、いっしょうけんめい自分ができるようになりたい技の練習に取り組んでいました。先生も、それぞれの練習場所を回って、個別にアドバイスしていきます。

しかし、もっと上達できるようにするために、先生は、子どもたちに「もっと友だちを頼って話をしよう！」と全体に声をかけます。子どもたちが、自分の技の練習にいっしょうけんめい取り組んでいることは先生も認めています、互いにアドバイスし合うことで、さらなる上達をねらったのです。子どもたちは少しずつ声を掛け合うようになり、さらには、練習場所を工夫して設定するようにもなっていました。



あっという間に時間が過ぎていきましたが、子どもたちは、豊富な運動量で、自分の目標に向かって、いっしょうけんめいがんばる姿が見られました。最後に、学習カードに振り返りを書いて、この日の授業は終了しました。最後には、一人一人どんな技ができるようになっているか楽しみです。

佐野っ子ギャラリー



1年生 交通安全教室



2年 体育



3年 書写



4年 総合的な学習の時間



5年 書写



6年 理科